

日本古来の「昔の単位」クイズ

答えはなんでしょう。

問1. おとぎ話の「一寸法師」。彼の身長「一寸」は、今の単位でいうとおよそ何センチ？

問2. 「一寸」の10倍の長さを表す単位は何？

問3. 和楽器の「尺八(しゃくはち)」。この名前の由来は、楽器の「何」が1尺8寸だから？

問4. 昔の日本家屋でよく使われた「一間(いっけん)」。ふすまや障子の幅の目安にもなりますが、およそ何メートル？

問5. 身長を表すときに「身の丈(みのたけ)」と言ったりしますが、「1丈(じょう)」はおよそ何メートル？

問6. アニメ『母をたずねて三千里』。この「里(り)」は距離を表す単位ですが、1里はおよそ何キロメートル？

問7. ことわざ問題です。「一寸の虫にも〇〇の魂」。小さくても意地があるという意味ですが、〇〇に入るのは？

問8. 着物を仕立てるときに使う、竹などでできた昔の物差しを「〇〇尺」と言います。動物の名前が入りますが何？

問9. ことわざ問題です。ほんの少し先もどうなるか分からないことを「一寸先は〇」と言いますが、〇に入る一文字は？

問10. 大工さんが使う、L字型に曲がった金属製の定規を何という？

問11. 今でもお米を炊くときによく使う「合(ごう)」。1合はおよそ何ミリリットル(cc)？

問12. お酒の瓶でおなじみの「升(しょう)」。1升は「合」をいくつ集めた量？

問13. 業務用の油やペンキなどが入っている、四角い大きなブリキの缶。1升の10倍の量が入ることから「〇〇缶」と呼びます。何缶？

問14. 加賀藩(現在の石川県)は「加賀百万〇」と呼ばれました。この「〇」に入る、お米の量を表す最大の単位は何？

問15. 家や土地の広さを表す「坪(つぼ)」。1坪は、一般的な畳(たたみ)でおよそ何畳分の広さ？

問16. 畑や田んぼの広さを表す単位。「一歩(いちぶ)、一畝(いっせ)、一反(いったん)」と来て、一番広い単位は「一〇」？

問17. 食パンの重さを数える時に今でも使われる「1〇、2〇」という単位は何？

問18. 真珠(パール)の重さを量る単位として、なんと現在でも世界中で使われている日本古来の単位は何？

問19. 相撲取りの体重や、大きな魚の重さを表す時に使われる「貫(かん)」。1貫はおよそ何キログラム？

問20. とんち問題です。「二升五合」と書いて「ますますはんじょう」と読みます。「二升(升が2つ=ますます)」ですが、「五合」を「はんじょう」と読むのはなぜ？

日本古来の「昔の単位」クイズ(解答と解説)

問1. おとぎ話の「一寸法師」。彼の身長「一寸」は、今の単位でいうとおよそ何センチ？

答え：約3センチ

親指の幅くらいですね。本当に小さかったことがわかります。

問2. 「一寸」の10倍の長さを表す単位は何？

答え：尺(しゃく)

1尺は約30.3センチです。

問3. 和楽器の「尺八(しゃくはち)」。この名前の由来は、楽器の「何」が1尺8寸だから？

答え：長さ

標準的な尺八の管の長さが「1尺8寸(約54.5cm)」だったことから名付けられました。

問4. 昔の日本家屋でよく使われた「一間(いっけん)」。ふすまや障子の幅の目安にもなりますが、およそ何メートル？

答え：約1.8メートル(約181センチ)

6尺=1間です。現在も不動産の間取りなどで使われる感覚ですね。

問5. 身長を表すときに「身の丈(みのたけ)」と言ったりしますが、「1丈(じょう)」はおよそ何メートル？

答え：約3メートル

実際の人間で3メートルはいませんが、非常に大きいことを表す言葉として使われます。

問6. アニメ『母をたずねて三千里』。この「里(り)」は距離を表す単位ですが、1里はおよそ何キロメートル？

答え：約3.9キロメートル(約4キロ)

三千里は、地球の直径に匹敵する約1万2000キロというとんでもない距離になります。

問7. ことわざ問題です。「一寸の虫にも〇〇の魂」。小さくても意地があるという意味ですが、〇〇に入るのは？

答え：五分(ごぶ)

「分(ぶ)」は寸の10分の1の単位。五分は半寸(約1.5センチ)のことです。

問8. 着物を仕立てるときに使う、竹などでできた昔の物差しを「〇〇尺」と言います。動物の名前が入りますか何？

答え：鯨尺(くじらじゃく)

昔、クジラのヒゲを使って物差しを作っていたことが由来です。

問9. ことわざ問題です。ほんの少し先もどうなるか分からないことを「一寸先は〇」と言いますが、〇に入る一文字は？

答え：闇(やみ)

昔の夜は今よりもずっと暗かったため、一寸(約3cm)先すら見えなかったことに由来します。

問10. 大工さんが使う、L字型に曲がった金属製の定規を何という？

答え：曲尺(かねじゃく)

鯨尺(くじらじゃく)よりも少し短く、建築などの長さを測る基本となっていました。

問11. 今でもお米を炊くときによく使う「合(ごう)」。1合はおよそ何ミリリットル(cc)？

答え：約180ミリリットル(180cc)

計量カップすりきり1杯分ですね。

問12. お酒の瓶でおなじみの「升(しょう)」。1升は「合」をいくつ集めた量？

答え：10合

1升は約1.8リットルです。一升瓶はお祝い事の定番ですね。

問13. 業務用の油やペンキなどが入っている、四角い大きなブリキの缶。1升の10倍の量が入ることから「〇〇缶」と呼びます。何缶？

答え：一斗缶(いっとかん)

1斗は約18リットル。昔はお米も一斗缶で保管したりしていましたね。

問14. 加賀藩(現在の石川県)は「加賀百万〇」と呼ばれました。この「〇」に入る、お米の量を表す最大の単位は何？

答え：石(こく)

1石は10斗。大人が1年間に食べるお米の量が「約1石」と言われていました。

問15. 家や土地の広さを表す「坪(つぼ)」。1坪は、一般的な畳(たたみ)でおよそ何畳分の広さ？

答え：2畳

「1坪＝畳2枚分」と覚えておくと、家の広さがイメージしやすいですね。

問16. 畑や田んぼの広さを表す単位。「一歩(いちぶ)、一畝(いっせ)、一反(いったん)」と来て、一番広い単位は「一〇」?

答え：町(ちょう)

1町(約1ヘクタール=約3000坪)の田んぼを持つ人は、昔はかなりの地主さんでした。

問17. 食パンの重さを数える時に今でも使われる「1〇、2〇」という単位は何?

答え：斤(きん)

本来の1斤は600gですが、日本の食パンは340g以上を「1斤」と表示するルールになっています。

問18. 真珠(パール)の重さを量る単位として、なんと現在でも世界中で使われている日本古来の単位は何?

答え：匁(もんめ)

1匁は3.75g。五円玉1枚の重さとぴったり同じです。世界でも「Momme」で通じます。

問19. 相撲取りの体重や、大きな魚の重さを表す時に使われる「貫(かん)」。1貫はおよそ何キログラム？

答え：約3.75キログラム

1000匁が1貫です。お寿司屋さんの「1貫」も、昔は重さの単位だったなどの説があります。

問20. とんち問題です。「二升五合」と書いて「ますますはんじょう」と読みます。「二升(升が2つ=ますます)」ですが、「五合」を「はんじょう」と読むのはなぜ？

答え：1升の半分(半升=はんじょう)だから

「ますます繁盛(二升五合)」という、昔の人の粋な言葉遊びですね。商売をしているお店によく飾られていました。